

山川校区の文化財マップ



国指定史跡

あんこくじかめかんぼぐん

A. 安国寺甕棺墓群

62基の甕棺墓が見つかった、筑後地方の代表的な甕棺墓群です。甕棺墓の周りには丹塗土器が出土した祭祀土坑があり、弥生人の祭礼の様子がうかがえます。



県指定有形文化財

もくぞうしゃかによらいざぞう

B. 木造釈迦如来坐像

安国寺の前身である、万法寺に伝来した仏像です。銘から、建長6年(1254)に作られたことが分かっています。鎌倉時代に造られた仏像は、筑後地方でもわずかしが残っており、当時の仏像の特徴を残す貴重な文化財です。



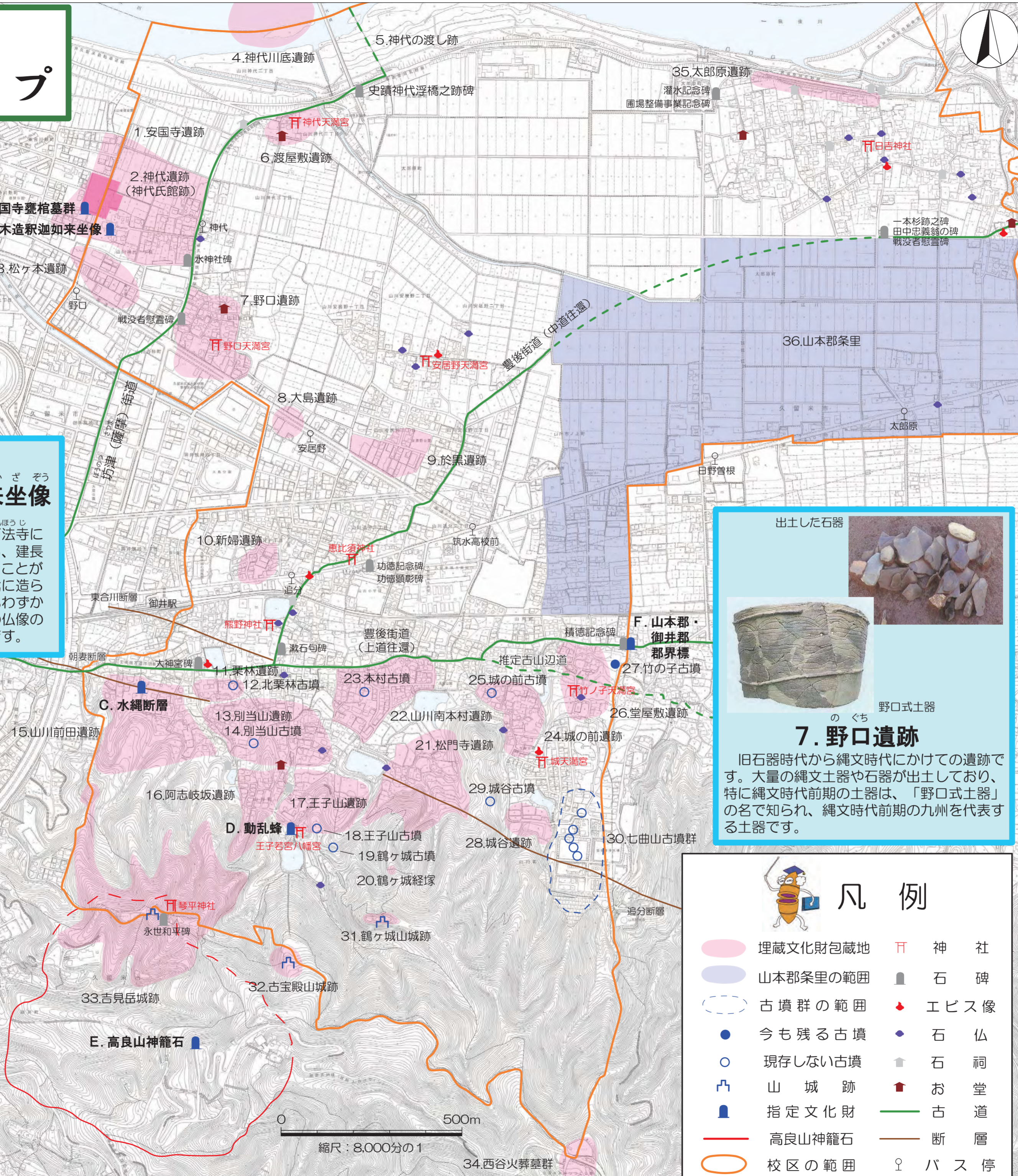
D. 県指定無形民俗文化財 動乱蜂

おうしわかみやちまんぐう
王子若宮八幡宮の神事で、悪疫退散や五穀豊穡を祈願して、毎年9月15日に行われます。竹に詰められた仕掛け花火が一同に飛び回る光景は圧巻です。



E. 国指定史跡 高良山神籠石

高良山を囲むように並び列石で、「神籠石式山城」の代表的な遺跡です。高良山の北側にも列石があったと言われていましたが、現在は残っていません。



5. 神代の渡し跡

くましろ
大正時代まで渡し船があった場所です。文永11年(1274)の文永の役(元寇)の際に、地元の豪族である神代氏が船を使って浮橋を築き、味方を渡したと伝えられています。



35. 太郎原遺跡

だいろばる
古墳時代の集落遺跡です。5世紀前半の竪穴住居からは、カマドが見つかったほか、日本で作られ始めたばかりの初期須恵器が出土しました。

出土した石器



野口式土器

7. 野口遺跡

のぐち
旧石器時代から縄文時代にかけての遺跡です。大量の縄文土器や石器が出土しており、特に縄文時代前期の土器は、「野口式土器」の名で知られ、縄文時代前期の九州を代表する土器です。

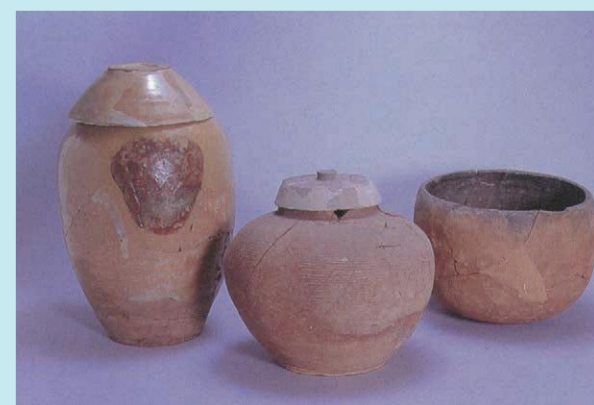


市指定有形民俗文化財

やまもとぐん みいぐんぐんかいひょう

F. 山本郡・御井郡郡界標

山本郡と御井郡の境を示す石碑です。元禄8年(1695)、久留米城下町から豊後国に通じる山辺道に立てた記録が残っています。



34. 西谷火葬墓群

にしたにかそうぼぐん
久留米森林つつじ公園の駐車場付近で見つかった、奈良時代から平安時代にかけてのお墓です。高良山の山岳仏教との関連が指摘されています。



凡例

- 埋蔵文化財包蔵地
- 山本郡条里の範囲
- 古墳群の範囲
- 今も残る古墳
- 現存しない古墳
- 山城跡
- 指定文化財
- 高良山神籠石
- 校区の範囲
- 神社
- 石碑
- エピス像
- 石仏
- 石祠
- お堂
- 古道
- 断層
- バス停